

内政

・9日、フォルムザル・ガガウズ自治区首長は、3月のガガウズ自治区首長選挙に関し、社会党の支持を受けたヴラフ候補は確実に決選投票まで行くであろう旨発言。

・10日、カンドゥ議会議長は、欧州統合及び連合協定の履行は、沿ドニエストル地域との対話を活性化させる旨発言。

・12日、議会本会議において、レアンカ首相候補は、閣僚名簿案及び政府行動計画案を提示。自由民主党及び民主党は同候補を支持するよう他党に呼びかけ。一方、社会党及び共産党は、同候補を支持しない意向を表明。自由党は、立場を表明せず、審議を17日まで延期するよう提案。同首相候補の

承認に関する決議案が採択にかけられるも、賛成42名により否決。

・12日、ティモフティ大統領は、ツヴィルク黒海経済協力機構事務総長と会談し、環黒海幹線建設プロジェクト等の黒海地域協力にモルドバは引き続き興味を有している旨発言。

・13日、ヴォローニン共産党党首は、ビジネス界出身の首相候補であれば、同党は支持をする用意がある旨発言。

・13日、レアンカ首相代行は、自由民主党が別の首相候補を推薦すれば、驚かざるをえない旨発言。

・13日、ルーマニア外務省は、モルドバの親欧州勢力に対し、責任と連帯を示すよう呼びかけ。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)